

2)対象工事以外も含めて契約した場合の内訳明細書記入例

**安城 太郎 様** 住宅改修見積書(内訳明細書)

事業者	所在地	安城市桜町9-999
	名称	(株)安城建設
	連絡先	0566-76-xxxx
	担当者	桜 一郎

施工業者が明記してあること。

見積書宛名は被保険者のフルネームで記入すること。

改修の種類 (※1)	写真等 番号	改修場所	改修部分	名称(※2)	商品名・規格・寸法等	改修全体			介護保険対象部分		算出根拠他		
						数量	単価	金額	数量	金額			
(1)	①	浴室	手すり	材料費と施工費は分けること。	製 AC111(ステンレス製 φ35:L=800×600)	1							
(1)				取付工賃		1							
(1)	②	廊下	手すり	長尺手すり	B社製 BD999-1(木製 φ35:L=4,000)	2					③各2000④2400+800		
(1)・(6)				手すり下地	集成材 3,000×100×10	1	本	2,000	2,000	1	本	2,000	実寸④2700
(1)	③	寝室		ブラケット	B社製 BD999-2	6	個	800	4,800	6	個	4,800	②2個③2個④2個
(1)				エンドブラケット	B社製 BD999-3	1	セット	2,000	2,000	1	セット	2,000	④1セット(2個入)
(1)				エンドホルダー	B社製 BD999-4	4	個	1,500	6,000	4	個	6,000	
(1)			コーナーブラケット	B社製 BD999-5	1	個	1,500	1,500	1	個	1,500		
		寝室	敷居	取付工賃		1	式	2,000	2,000	1.0	式	2,000	
				段差解消スロープ	C社製 CE234(木製:1200×90×25)	1	本	2,700	2,700	1	本	2,700	
				取付工賃		1	式	1,000	1,000	1	式	1,000	
(6)	⑤	トイレ		和式便器・床(タイル)撤去		2.2	m <sup>2</sup>	7,500	16,500	2.2	m <sup>2</sup>	16,500	1,212×1,818
(6)				木材費	下地・根太	1	式	5,000	5,000	1	式	5,000	
(6)				下地工事		2.2	m <sup>2</sup>	5,000	11,000	2.2	m <sup>2</sup>	11,000	
(3)	⑥		床	ウッドフローリング(床材)	C社製 KA135(4尺×6尺用・厚15mm)	1	枚	20,000	20,000	1	枚	20,000	
(3)				張り替え工賃		1	式	5,000	5,000	1	式	5,000	
(5)	⑦		便器	洋式トイレ	D社製 DF555 AB-1 ZX-7895	1	台	143,000	143,000	1	台	143,000	
(5)				取付工賃		1	台	15,000	15,000	1	台	15,000	
(6)				給排水工事(材料費)	配管等	1	m	3,000	3,000	1	m	3,000	
(6)				給排水工事(工賃)	位置変更手間	1	式	10,000	10,000	1	式	10,000	
(6)	⑧	洗面所	扉	既設建具撤去		1	式	10,000	10,000	1	式	10,000	
				引き戸	E社製 EX987(木製:2,000×954×30)	1	セット	80,000	80,000	1	セット	80,000	カタログ添付
				取付工賃		1	式	10,000	10,000	1	式	10,000	
			小計					389,500					
			諸経費					0					
			消費税					38,950				38,950	
			合計					428,450				428,450	

数量は区分することが困難な場合を除いて、「〇〇工事一式」としてまとめないこと。

セットで単価が出ているものは、1セット何個入りか記入すること。

住宅改修の種類を明示すること。

対象となる箇所の写真や図の番号を記載すること。

材料は、製造メーカー・品番・商品名・寸法等詳細を記載すること。材料名等は極力専門用語を避けて分かりやすい表記にすること。(例:PB=石膏ボード、SUS⇒ステンレス等)

必要に応じて、カタログの写し等を添付資料として提出すること。

(※1)住宅改修の種類:(1)手すりの取付け(2)段差の解消(3)滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更(4)引き戸等への扉の取替え(5)洋式便器等への便器の取替え(6)その他住宅改修に付帯して必要となる改修

(※2)名称: 材料費、施工費、諸経費等を分けて記載すること

2)対象工事以外も含めて契約した場合の内訳明細書記入例

**安城 太郎 様** 住宅改修見積書(内訳明細書)

事業者 所在地 安城市桜町9-999  
 名称 (株)安城建設  
 連絡先 0566-76-xxxx  
 担当者 桜 一郎

施工業者が明記してあること。

見積書宛名は被保険者のフルネームで記入すること。

種類 (※1)	与具等 番号	改修場所	改修部分	名称(※2)	商品名・規格・寸法等	改修全体			介護保険対象部分		算出根拠他		
						数量	単価	金額	数量	金額			
(1)	①	浴室	手すり	インテリア・バー(L型)	A社製 AC111(ステンレス製φ35:L=800×600)	1							
(1)				取付工賃		1							
(1)	②	廊下	手すり	長尺手すり	B社製 BD999-1(木製φ35:L=4,000)	2					②③各2000④2400+800		
(1)・(6)				手すり下地	集成材 3,000×100×10	1	本	2,000	2,000	1	本	2,000	実寸④2700
(1)	③	寝室		ブラケット	B社製 BD999-2	6	個	800	4,800	6	個	4,800	②2個③2個④2個
(1)				エンドブラケット	B社製 BD999-3	1	セット	2,000	2,000	1	セット	2,000	④1セット(2個入)
(1)				エンドホルダー	B社製 BD999-4	4	個	1,500	6,000	4	個	6,000	
(1)				コーナーブラケット	B社製 BD999-5	1	個	1,500	1,500	1	個	1,500	
(1)				取付工賃		1	式	2,000	2,000	1	式	2,000	
(2)	④	寝室	敷居	段差解消スロープ	C社製 CE234(木製:1200×90×25)	1	本	2,700	2,700	1	本	2,700	
				取付工賃		1	式	1,000	1,000	1	式	1,000	
		トイレ		和式便器・床(タイル)撤去		2.2	m <sup>2</sup>	7,500	16,500	2.2	m <sup>2</sup>	16,500	1,212×1,818
				木材費	下地・根太	1	式	5,000	5,000	1	式	5,000	
(6)				下地工事		2.2	m <sup>2</sup>	5,000	11,000	2.2	m <sup>2</sup>	11,000	
(3)	⑥	床		ウッドフローリング(床材)	C社製 KA135(4尺×6尺用・厚15mm)	1	枚	20,000	20,000	1	枚	20,000	
(3)				取付工賃		1	式	5,000	5,000	1	式	5,000	
(5)	⑦	便器		洋式便器	D社製 DF555 AB-1 ZX-7895	1	台	143,000	143,000	1	台	143,000	
				取付工賃		1	台	15,000	15,000	1	台	15,000	
				給排水工事(材料費)	配管等	1	m	3,000	3,000	1	m	3,000	
				給排水工事(工賃)	位置変更手間	1	式	10,000	10,000	1	式	10,000	
				電気工事		1	式	10,000	10,000				
(6)	⑧	洗面所	扉	既設建具撤去		1	式	10,000	10,000	1	式	10,000	
(4)				引き戸	E社製 EX987(木製:2,000×954×30)	1	セット	80,000	80,000	1	セット	80,000	カタログ添付
(4)				取付工賃		1	セット	10,000	10,000	1	セット	10,000	
	⑨	台所	壁・天井	クロス張り				60,000	200,000				
		小計							599,500				
		諸経費							0				
		消費税							59,950				
		合計							659,450				

数量は区分することが困難な場合を除いて、「〇〇工事一式」としてまとめないこと。

セットで単価が出ているものは、1セット何個入りか記入すること。

住宅改修の種類を明示すること。

材料費と施工費は分けること。

対象となる箇所の写真や図の番号を記載すること。

対象外工事がわかるように明記すること。

対象外

必要に応じて、カタログの写し等を添付資料として提出すること。

材料は、製造メーカー・品番・商品名・寸法等詳細を記載すること。材料名等は極力専門用語を避けて分かりやすい表記にすること。(例:PB=石膏ボード、SUS⇒ステンレス等)

(※1)住宅改修の種類:(1)手すりの取付け(2)段差の解消(3)滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更(4)引き戸等への扉の取替え

(5)洋式便器等への便器の取替え(6)その他住宅

(※2)名称: 材料費、施工費、諸経費等を分けて記載すること

一連の工事で住宅改修の対象部分と対象外の部分がある場合は、上記のように、全ての内訳を記載したうえで、対象部分がわかるようにしておいてください。